
人類の希望

深紅色の鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人類の希望

【NZコード】

N8401Y

【作者名】

深紅色の鳥

【あらすじ】

2030年、地球。人類は、人口爆発による食糧危機を乗り越え栄えていた。

その一方で、強大な科学力を持つことによる驕りもでき始めていた。

長野県松本市、神奈川県箱根町。

突然、この2つの町とその周辺の町が壊滅する。

原因は、不明。しかし、遙か彼方の宇宙に生命が存在する惑星があることを考えると、1つの説が立った。宇宙からの侵略者。

人類と人類の科学戦争の中で1人の男が動き始める。

人類の変化の可能性について、描くSFになる予定。エヴァンゲリオン要素が入っていますが、エヴァの世界とは関係がありません。現実世界が舞台となっています。

科学的なことは、あまり考えていませんので、「リアルじゃない」という感想につきましては、スルーさせていただきます。
2030年という設定なので、現在とは違う国家・自治体等が存在します。

1 全ての始まり ～松本市、壊滅～（前書き）

この物語は、フィクションです。実在する国家・自治体・人物・組織などの名前とは、全く関係がありません。ご了承下さい。エヴァンゲリオン要素が入っております。

1 全ての始まり ～松本市、壊滅～

西暦2030年9月13日。午前9時13分13秒。
長野県全域を激震が襲つた。大地が裂けんばかりに揺れ、大きな音
が響いた。

人々は、避難所へ行き、ラジオを聞きながら、地震の情報を知りう
としていた。

しかし、ラジオからは、全く地震の情報は入つてこない。
そもそもそのはず。これは地震ではなかつたのだ。

そう、人類の変化の時の始まりだつた。

危機管理対策委員会 本部。

危機管理対策委員会とは、自然災害、人災、戦争など予想される
全ての危機について情報を収集し、対策を立てる委員会である。委
員長は、秋山 大佐だ。

委員長室にあわてた様子で一人の男が入つてきた。年齢は、30
代前半あたりだろうか。きっちと整えられた服装とイケメンに分類
されるであろう顔。なかなか爽やかそうな青年だったが、かなりあ
わてていた。彼が慌てていた理由は長野での揺れだつた。入つてき
た男、希崎 重治副委員長は秋山に報告をした。

「長野県・山梨県を中心とする地域に地震と思われる震動があつた
ようです。」

「何!? 地震か?」

「分かりません。『垓』は、3%が自然災害、4%が北派による攻
撃、2%が謎の侵略者による攻撃、あとの91%は解析不能を示し
ています。」

「垓」とは、日本で新たに作られた超未来型汎用電子計算機のこ
とであり、京をさらに進化させたものである。演算速度毎秒1垓回
スーパー・コンピュータ

を目標としており、現在は毎秒1384京回が限界である。しかし、開発は続けられていて、さらなる進歩も期待されている。「垓」は、汎用高速電子計算機が100台組み込まれていて、それぞれが独自に判断し独自に答えを出す。それを、垓のメインコンピュータがまとめてモニターに表示されるという仕組みなのだ。

垓は、現在日本政府直属の組織、超電子計算機開発機構の施設にあり、さまざまな計算依頼をこなしている。

「とにかく、長野に状況を確認しろ！長野市、安曇野市、松本市、諏訪湖市、伊那市、駒ヶ根市、飯田市に確認を取れ！」

秋山が命令をする。希崎は、返事をすると委員長室を出て行つた。秋山も、委員長室を出て、大会議室へ向かつた。大会議室では、既に対策本部がつくられていた。秋山が対策本部となつている大会議室に入ると、さつそく希崎からの報告があつた。

「長野市、安曇野市、伊那市、駒ヶ根市、飯田市は、応答がありました。被害は住宅の損壊などだそうです。松本市、諏訪湖市はまだ連絡が取れません。調査へりを向かわせていますが、もしかしたら・

・

そのとき、調査へりからの連絡があつた。

「大変です。松本・塩尻・諏訪の周辺に大きなクレーターのような物ができています。諏訪湖はおそらく蒸発したものと思われます。松本市、諏訪湖市は壊滅したと思われます。」

この報告に、大会議室にいたもの全員が驚きの表情を見せた。いつも冷静な希崎は、他の人と比べれば冷静だったが、驚きを隠せない様子だった。秋山は、垓が示した分析データを基にこう命令した。「まずは、自然災害の可能性を探れ。そして、北派の可能性はないが、防衛省と朝鮮半島連合共和国に確かめろ。とりあえず、それからだ。」

この命令に、大会議室にいた委員たちは動き出した。一部では、コンピュータと睨みあつて自然災害の可能性を探つていて。一部で

は、防衛省や朝鮮半島連合共和国に連絡をし、確認をしていった。

北派と朝鮮半島連合共和国について解説しておこう。

北派とは、旧北朝鮮に住んでいた者の中でも、特にアメリカや旧韓国、日本などに対し攻撃的な行動をとる者をいう。南北統一により、北朝鮮と韓国は和解し、一つの国となつたが、まだ北派はかなりいるという状況だ。しかし、現在は、日本政府の防衛省やアメリカの特別対策委員会、朝鮮の北派対策庁などの監視により、大きな事件は起きていない。ただ、危険性が全くないというわけではない。

朝鮮半島連合共和国は、2021年にできた国家。通称は朝鮮。
キム・ジョンイル
金正日（1941-2015）の死後、北朝鮮と韓国が和解、統合したものである。議院は、旧北朝鮮の北院と旧韓国の南院に分かれている。まだ、完全的な統合とは言えないが、かなり南北和解は進行しているのだ。

そして、調査の結果が分かつた。

「自然災害の可能性は、おそらくありません。さらに、北派幹部及び協力者と思われる人物は、防衛省やアメリカ、朝鮮がマークしています。北派の攻撃行動でもないかと。」

秋山は、残された一つの可能性に驚いた。「核」が導き出した答えは、宇宙からの侵略者だったのだ。

「ばかな……、アニメや漫画じゃあるまいし……。そんなことか……」

秋山は、ただ立ち尽くしていた。

1 全ての始まり～松本市、壊滅～（後書き）

諏訪湖市について説明をします。
長野県中部にある都市。諏訪市、下諏訪町、岡谷市が合併して誕生
した。市役所は、旧岡谷市にある。（合併とともに新たに建設され
た）

ちなみに、ここが合併するなんてありえない・・・とかそういうの
もスルーさせていただきます。なにしろ、初心者ですので、地元感
情とかあまり考慮していませんので。

松本市、塩尻市、諏訪市、岡谷市など、松本・諏訪地域にお住まい
の方には、お詫びを申し上げます。なぜ、ここになつたかといいま
すと、エヴァンゲリオンで第2新東京市となつてているからです。別
に個人的恨みというわけではありません。

2 謎の目的～箱根、壊滅～

「本当に、北派でも自然災害でもないんだな？」

秋山が重い口調で、部屋にいた全員に確認をした。希崎が秋山の質問に代表して答える。

「はい、ほぼ100%ないと思います。」

秋山は、希崎の言葉を聞き、しばらく目を閉じて考えていた。そして、目を開けて、こう言った。

「では、この爆発は、『太陽系外に存在する未確認文明による攻撃行為』と判断する。すぐに、アテーナー（Athena）へ連絡しろ！」

秋山の命令に、数人の委員が返事をし、電話をかけた。

国連直属の組織、特殊機関アテーナー（Athena）とは、地球外の文明との戦争の全てを取り仕切る組織である。森崎秀樹が地球外に文明がある可能性を92%、そしてその文明のうちの45%が地球への攻撃を考えた研究結果を発表したことで、できた組織である。地球外文明との戦争においては、国家をも動かすほどの権限も持つ。本部は、東京都旧三鷹市にある。（三鷹市は、アーナー建設のため消滅、住民は八王子市などへ移住した）なぜ三鷹市にこだわったのかは、まだ明らかにはされていない。かなり、謎に包まれた組織である。

そして、アテーナーの最高責任者である、総長の山本 権太を先頭に、アテーナーの職員が部屋へ入ってきた。連絡を受けて、霞ヶ関にある本部へかけつけてきたようだった。

「秋山委員長、本件はこれより、アテーナーの指揮のもとで調査等の活動を行ないます。あなたたちは、アテーナーの指示に従つてもらうことになります。よろしいですね？」

と、山本が秋山に言った。秋山は、承諾の返事をした。

アーティナーの職員は、危機管理対策委員会本部にある資料をまとめてダンボール箱に入れると、部屋を出ていった。最後に、山本だけが残った。山本は、

「とりあえず、危機管理対策委員会は、情報収集をお願いします。何かありましたら、三鷹のアーティナー本部へどうぞ。」

と言つと、部屋を出て行つた。秋山は、それを苦い顔をして見ていた。

午後2時21分02秒。再び強い揺れが、今度は東京・神奈川・静岡を襲つた。危機管理委員会はもちらんのこと、三鷹のアーティナー本部も大きく揺れた。

「おい、確認を取りれ！大田区、横浜市、小田原市、富士市、静岡市、相模原市だ！急げ！」

と秋山が大声をあげていた。すぐに、報告がかえつてきた。

「大田区、確認取れました！」

「横浜市、応答しています！建物の損壊等です、大きな異常はありません！」

「だめです！小田原市、応答しません！」

「富士市、確認しました！」

秋山は、これらの報告から、中心地は小田原市周辺と判断し、この周辺の市町村に連絡をするように命令した。

「熱海市・三島市・沼津市が応答なし、伊豆市・伊東市・厚木市が応答あります。」

と報告がかえつてくる。そして、秋山が派遣したヘリからの連絡が入つてきた。

「箱根町を中心とした半径約25kmの範囲がほぼ壊滅状態です！」
今度は、箱根だった。ヘリから映像が送られてきた。その映像がコンピュータの画面に映し出される。委員の多くは、画面を見て愕然とした。芦ノ湖は、完全になくなつていた。小田原も熱海も三島も

跡形もなく消えていた。関東有数の観光地が一瞬にして消滅したのだ。おそらく、かなりの威力を持つ兵器による物だろう。本当に我々はこの文明に勝てるのか。秋山も希崎も、その気持ちが心のほとんどを占めていた。危機管理対策委員会の本部を重い雰囲気が包み込む。秋山は、この情報をアーテナー本部へ連絡した。

アーテナー本部、山本は、秋山からの連絡を聞いて驚いた。文明の兵器が予想以上の威力を持つていたからだつた。それと同時に疑問も浮かんだ。なぜ、松本と箱根なのか・・・と。東京や大阪、名古屋、横浜とほかに大都市はたくさんある。しかし、謎の文明は、松本と箱根を攻撃した。次は東京だぞ、という脅しなのか。それとも、松本と箱根に何かあるのか。いくら考えても分からなかつた。

とある場所の会議室。

「くそつ！箱根も違つたか・・・。」

「残るは、宇部だな・・・。」

「しかし、このデータは信頼できるのか？カインは本当に宇部にいるのか？」

「分からん、しかしやるしかない。カインは絶対に殺さなければいけない。」

こんな声が響いていた。

「ああ、その通りだ。カインが地球人と接触したら、厄介なことになる。」

2 謎の目的～箱根、壊滅～（後書き）

箱根、小田原市、熱海市、沼津市などの市町村にお住まいの方、申し訳ありません。ここも仕方ないんですよ・・・。エヴァンゲリオンで第3新東京市があるというのが理由です。でも、この物語はエヴァの世界が舞台ではありませんが。

アーテナー、登場しました。エヴァでいうNERVみたいなものです。エヴァ色が濃くなっている気がしますが、気にせずにいきたいと思います。なぜ、三鷹なのかは、永遠の謎ということにしてください・・・。

カイン。彼は何者なのか、それはこれから分かります。お楽しみに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8401y/>

人類の希望

2011年11月27日21時54分発行